

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐県庁前
電話2-9772

令和七年度 初任者研修に係る学校訪問

今年度、隠岐教育事務管内に、初任者研修対象者が小学校に五名、中学校に九名おられます。(十二月二十日現在)全ての初任者研修に係る学校訪問を終えました。主に小学校は教育事務所担当者が、中学校は島根県教育センターのスタッフが訪問させていただきましたが、どの学校でも丁寧に対応していただき、ありがとうございます。初任者との面談においては、若さ溢れる情熱や、若さ故の悩みに多く触れ、私自身、心に返る思いでした。また、管理職との面談においては、初任者の良さや成長課題を的確に把握し、組織的に支援していこうという思いを感じることができました。全て

○主体的・対話的な 学びの実現

・教師対子供のやりとりから、徐々に子供同士のやりとりで転換していくこと。
・子供たちが思考する際に、課題解決に必要な既習事項を自分で引き出せるよう支援すること。(ノート、掲示物などから)
・三学期も、校内の研修や授業実践が続きますが、引き続き、初任者のサポートをよりしくお願いいたします。



濱田 貴士

令和八年度 教職員人事異動について

人事異動は、学校の教育活動を一層清新活発にし、本県教育の進展に資することを目標としています。教職員の今後の生き方や在り方に大きく影響する大切な節目でもあり、多様な勤務経験の積み上げは、資質・能力の向上と密接に関連しています。そ

隠岐教育事務所 人事異動方針

のため、一人ひとりが島根県教育委員会人事異動方針細則(以下、細則)を理解し、中・長期的な見通しをもち、教職員としての一層の成長を促すための適切な赴任計画の検討をお願いします。
隠岐教育事務所としては、島前・島後間人事交流の促進が重要な課題であると捉え、改善を図りたいと考えています。今まで健康状態や家族の状況等、特別な事情について可能な限り配慮をしていましたが、あくまでも「妥当性」と「公平性」を基本とする必要があります。加えて、本県及び管内教育の現状や各学校の組織状況等あらゆる実情を踏まえた上で総合的に調整していく必要があります。妥当性のない自己都合等については、考慮できません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和八年度隠岐教育事務所管内の人事異動は、各校の教育活動をより活発にし、管内教育を一層充実させるため、以下の方針により厳正に行う。

I 教育職員

①広域的な視野に立ち、学校の教員組織が適正なものとなるよう配慮する。

②学校の課題解決と充実した教育活動推進のため、適任者を配置する。

③特別支援教育の推進を図るため、適任者を配置する。

④前記の方針に基づき、人事交流(島前島後間交流、小中県立学校間の交流)を適正に行うとともに初任者の配置に配慮する。

II 事務職員

①学校の実情と事務職員の育成を考慮し、適切な配置に配慮する。

②事務グループ活動の充実のため、見通しをもった配

置にする。

教育発展のために

毎年行っている各市町村の児童生徒数調査で以下のことが分かりました。隠岐管内の児童数は、令和八年度には約六十名程度減少し、令和九年度には、更に約五十名程度減少する見込みです。学級数も減り、必要教員(小学校授業者)数も十名以上減ることになります。特に島後の学校の教員数が多く減る試算です。前述したように我々教職員は人事異動を機に、それぞれの地域の良さを学びを共有し、研修に励み、島根の、隠岐の子供たちの素晴らしい成長を目指さねばなりません。児童生徒数が減ることを子供たちのピンチにしてはなりません。今後も全県的で全隠岐的な考えで、積極的な交流が図られるよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新谷 慎太郎

